



同窓会報

発行

沖縄大学同窓会広報委員会

〒902-8521 沖縄県那覇市字国場555

☎・FAX 098 (832) 6560

E-mail
dosokai@okinawa-u.ac.jp

第33号



女性部会。顧問の許田英子さんが瑞宝双光章を受章



青年部会、野球部4年次を招いての祝宴



女性部会主催の棚原勝也会長朗読会



九州地区大学野球連盟新人戦派遣費贈呈



男子バスケ部九州リーグ1部昇格祝金贈呈

謹んで新春のお慶びを申し上げます。沖縄大学同窓生の皆様におかれましては、約2年に及ぶ新型コロナウイルスの影響により、困難と挑戦の2年だった方も多いと思います。世界的に見ると、まだまだコロナの収束は見えない状況にあり、決して安心できるものではありません。

九州地区大学野球連盟新人戦派遣費贈呈

承しつつ、卒業の誇りを胸に古里の未来について一人ひとりが責任を持てる存在でありたいと考えます。「雪が溶けると何になる?」。これは、ある小学校の理科の授業で、教師が子どもたちへ出したテスト問題です。この問いに多くの子どもたちが「水になる」と答える中、一人の子どもが「春になる」と答えたというのです。新しい時代には、これまでの「決められた回答」ではなく、新しい発想の「答え」があることを感じさせる有名なエピソードです。



沖縄大学同窓会
会長 棚原勝也

新年のあいさつ

沖繩大学同窓会もまた、新しい発想で、新しい時代を担う後輩たちを今年も全力で支援してまいります。コロナ禍で思うような活動ができず、皆様にはご迷惑をおかけしていますが、昨年学生支援は全力で展開しました。

沖繩大学同窓会もまた、新しい発想で、新しい時代を担う後輩たちを今年も全力で支援してまいります。コロナ禍で思うような活動ができず、皆様にはご迷惑をおかけしていますが、昨年学生支援は全力で展開しました。

どうも皆様におかれましては、同窓会の活動に今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。今年が皆様にとって素晴らしい1年となりますことを祈念申し上げます。

関東支部長 仲宗根政則

新年明けましておめでとうございませう。

コロナ禍でも学びを止めない・経済を止めないように、それぞれのお立場でご健闘をされていることと存じます。

昨年の関東支部の行事開催実績は、一昨年に続き支部総会の書面決議のみの実施でした。2022年は、ワクチン効果や感染対策ノウハウも向上していることから、支部活動を止めないよう支部役員と知恵を絞り、徐々に再開してゆきたいと考えています。

ご一緒に明るく未来を切り拓いていきましょう。本年もよろしくお願ひ致します。



久米島支部長 宇江城久人

昨年新型コロナウイルスの感染拡大により、当たり前の日常生活が大きく制限されてしまいました。支部活動も自粛、総会も書面決議での実施となりました。

第5波収束以降は徐々にではありますが日常を取り戻しつつあります。

2022年もコロナの影響が出るものと思われませんが引き続き対策をしっかりと行い、工夫して出来ることに取り組み、少しおろそかになつた人と人との繋がりの大切さを再確認し、久米島支部の活動に生かしてまいります。

本年も久米島支部をよろしくお願ひいたします。



宮古支部長 下地一美

新春のお慶びを申し上げます。

2022年度の支部重点目標は、同窓生のネットワークを拡充し冠奨学制度の周知に努めることです。

春先の支部総会を皮切りに活動を盛り上げ、実り多き同窓会活動を実現する1年にしたいと思ひます。

会員の皆様の支部活動への参加と提言、並びにお力添えをお願いし、新年の挨拶といたします。

- 1・グラウンドゴルフの後定期総会を開催。事業報告、決算報告、予算、事業計画等の審議。
- 2・沖縄大学保護者懇談会に参加。学長教授、後援会と交流会を開催。
- 3・冠奨学金の依頼。
- 4・沖縄大学入試推薦枠の依頼。
- 5・卒業式、入学式への参加。



八重山支部長 鳩間真英

明けましておめでとうございませう。新年を迎え皆様と新たな気持ちで出発を期したいと思ひます。本年もどうぞよろしくお願ひします。

昨年は新型コロナウイルスで本当に大変な支部活動でした。各支部におかれなくても同様、大変な年だったのではないのでしょうか。

ワクチンの接種や新薬の開発などでコロナ禍が終息した折には、本来の活動を展開していきたいと思ひます。

支部活動は例年どおり、グラウンドゴルフをメイン活動にして会員の親睦を深めていきたいと思ひます。皆様の提言とご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。



女性部会長 熊谷フサ子

初春のお慶び申し上げます。

昨年は各市町村で議員選挙がありました。各地域で沖縄大学ご出身の方々が活躍されていること、うれしく思ひます。さて、那覇市では「女性ネットワーク」団体があり、市議会議員が会派を超えて全議員がご参加されています。

我が女性部会でも新しい情報の交換など、新年に向けて何かアクションが欲しいところではあります。

活躍の議員の先生方、アイデアをいただければ幸いです。♪「春よ来い」。昨年植えた桜が20センチほど成長しました。「花見、いいですね」。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



青年部会長 島袋 格

新年明けましておめでとうございませう。コロナ禍にあつては以前のような生活や人の交流もままならない時分ではありますが、改まった年に同窓会員の皆様のご多幸を、青年部会員一同心よりお祈り申し上げます。

これまで青年部会は若い世代の同窓生の交流を旨として活動してきました。現役学生に対しても、同窓会活動を周知する目的で、同窓会の活動に協力いただいた皆様や、スポーツなどで目覚ましい活躍をされた方々を招いての観月会を開催してきました。今年も感染対策には十分に留意し、可能な方法での交流を継続してまいります。



「明けない夜はない」

沖繩大学後援会会長
支援同志会会長 新垣 淑典



新年あけましておめでとう
とございます。

沖繩大学支援同志会会長の
新垣淑典です。2020
年から後援会会長にも任せ
られ両方のお手伝いをして
います。

一昨年より続くコロナ
禍、学生の皆さんは様々な
ご苦労をされている事と思
います。アルバイトが減り
学生生活どころか自分自身
の生活にさえ影響を受けて
いる方もいるのではないで
しょうか。もしくは実家の
ご両親の仕事への影響で生
活への影響を受けている方
もいるのではないでしょ
うか。

それと沖繩の基幹産業
である観光業の打撃は非常
に大きく、進路を観光関連
業へと考えている学生さん
も進路修正を余儀なくされ
ている方も多いのではない
でしょうか。
しかしこの状況は必ず

改善されず。明けない夜
は無いのです。必ず夜は明
け、朝が訪れます。それま
では後援会や支援同志会が
学生の皆さんの支えとなり
ます。

昨年も様々な形で学生
の皆さんの支援をいたしま
した。

支援同志会の規模は小
さいですが、特に離島出身
の皆さんへ家賃補助という
形で支援してきました。支
援同志会は県内外の有志や

一般企業から会費（寄付）
の志が集まり、学生の皆さ
んの支援を行っています。

後援会は学生の保護者
の皆様からの会費で運営さ
れ、学生の皆さんへの支援
を行なっています。

今年にはコロナによる影
響は小さくはなると思いま
すが、ゼロにはなりにくい
と思います。しかし皆さん
の将来に対する支障とはな
らないよう、我々が支えと
なる心づもりで支援を続け
ていきます。

一緒にこの苦境を乗り
越え、この新しい年を素晴
らしい未来への足掛かりに
しましょう。

希望に満ちた年へ

理事長 佐喜真實



明けましておめでとう
とございます。

2022年、寅年の本年
は当たり前の生活ができる
スタートの年として、希望
に満ちてお迎えのことと存
じます。

昨年中は沖繩大学同窓会
の皆様には多くの学生支援
をいただきありがとうございます
ございました。2020年、
2021年と長く続く新型
コロナ禍で学生の苦労は並
大抵ではなかったかと思
います。そのような中、同窓

会からの支援は有難く、そ
して多くの学生の励みにな
りました。改めて御礼申し
上げます。

さて、少しだけ大学の
様子をお伝えしますと、コ
ロナ禍のもとでも社会貢献
力が増し、学生にとって関
心度が高い駐車場整備が進
みました。

本学教員は行政学、福
祉学、栄養学などそれぞ

の専門的な知見を活かし、
沖繩県、那覇市などが主催
する委員会に委員長ないし
委員として参画し、地域の
発展、まちづくりに貢献し
ています。昨年は35名の教
員が95の委員会に招聘され
ています。

前年から見ると教員数、
委員会数とも増えており、
地域から本学教員へ寄せる
信頼が増していることがわ
かります。これは大学の誇
りであり、学生に対しても
教員が地域に多く貢献して
いるのは自慢だと話してい
ます。

沖繩大学の課題のひとつ
に駐車場整備があります
が、この2年間で長田第四
駐車場と第五駐車場を設
置・供用しました。これで
約670台の収容数となり、
授業時間配置の工夫と併せ
ることで、学生のニーズを
ほぼ満たす状況となりました。

今後とも学生の夢が実
現できる大学になるよう邁
進したいと存じます。
本年も宜しくお願い申し上
げます。

学生たちに学ぶこと多く

学長 盛口 満



明けましておめでとう
とございます。

2020年の早春から国
内での蔓延が始まった新型
コロナ感染症は、21年に
入っても衰えを見せず、県
内は長く続く緊急事態宣言
下での生活を余儀なくされ
ました。大学もこれにより、
遠隔と対面を併用しながら
の講義が続くことになりま
した。

もともと昨年、試行錯
誤の結果、ある程度のノウ
ハウは獲得していたので、
そのような事態にも対応し
た日々を教員も学生も送れ
ていたのではないかと思
います。

このような中、大学祭
も二年続けてウェブ開催と
なったのですが、大学祭実
行委員会の学生たちの取り
組みは「ウェブだからでき
る学園祭にチャレンジしよ
う」という心意気のもとに
行われたものでした。

市政100周年を迎
える那覇市をモチーフと
して、フィールドワークを
行い、その中で本学同窓生
でもある知念副市長にイン
タビューを行うなど、通常
の学園祭では起こりえな
かった企画も誕生しました。

このような学園祭実行
委員会の活動を見るにつけ、
学生たちのバイタリティー
に逆に学ぶことが多いこと
を、あらためて感じさせら
れたしいです。

また、大学基準協会か
らは、本学で行われている
「沖繩大学論」という大
学の歴史や同窓生の活躍を
伝える授業が優れた取り組
みであるという認定をいた
だき、取り組みについての
インタビュー、および取材
記事の紹介も行われました。

本年の「沖繩大学論」にお
いても、同窓生の方々をお
呼びして様々なお話を伺っ
ています。

今後とも皆さまのご支援
をいただき、沖繩大学の歴
史を積み上げていきたいと
考えております。

近状報告

鹿児島大学
人文社会科学部研究科
法学専攻(刑法)

2021年3月 経法商学科卒

榎原美海



私は主に少年犯罪と子どもの貧困との結びつきについて研究しています。学部生時代から少年犯罪分野に興味があり、4年生のゼミで戦後の特殊な環境が生み出した、他県に比べて著しく高い沖縄の「子どもの貧困」について学びました。

そこから、子どもの貧困が少年犯罪の一因ではないかとの考えに至りました。大学院でさらに知識を深めるために、罪を犯した少年に対する措置、彼らに必要なのは罰か、更生を目指す教育か、そこから範囲を広げて、年齢問わず、意思能力、行為能力が問われる加害者にはどのようなアプ

ローチが必要なのかななどを自分なりに模索しているところですが。

大学院の授業は、過去に起きた少年犯罪の資料を読み、まとめ、自らの考えを教授やクラスの人に向けてプレゼンをすることが中心です。1日の授業数はとても少ないですが、その分毎回の授業に向けての予習(プレゼンの準備)にとても時間を要し、毎回、次のプレゼンに向けて時間が足りないという焦りながら、なかなか答えの出ない自分に苛立ちつつ、何とか研究をする日々です。

大学院でも授業料や入学金が必要です。さらに学部生の時よりも沢山の参考文献を読むので、教授から貸与していただく、譲っていただく以外は購入費用がかさみます。沖縄大学同窓会の奨学生に選んでいただけたことは、とても助けになり、頑張る意欲にもなっています。

(写真の書籍は、今私が子どもの貧困の実情や、少年犯罪などを知っていく上で勉強するために読んでいる本です)

琉球大学大学院教育学
研究科高度教職実践専攻
(教職大学院)

2021年3月
国際コミュニケーション学科卒

仲松夕里菜



研究テーマは「中学英語で生徒が意欲的に取り組む授業づくりー小・中学校連携を重視した実践と課題ー」です。

学部時代の教育実習や学習支援、ボランティア等の経験を踏まえ、小学校から中学校に上がる際にギャップがあると実感しました。そこで中学校英語科として小学校と中学校の英語の授業のギャップをなるべく埋め、学習内容のなめらかな接続をすることで英語への興味、関心を引き出し、主体的に、意欲的に参加できる授業づくりの検討をしています。

1年次前期では、主に観察実習を通して生徒を見とる力を養い、夏期休暇で2週間の実習を行いました。後期では前期での実習から

の課題を洗い出し、次の実習に向けて実践内容や研究を練っている段階です。

大学院では教育現場で活躍している現職の先生が多いので、現職院生の意見や考えを聞いたり交流したりすることができ、毎日が充実した学びの日々になっています。素敵な出会いと学びがあります。

こうして充実した日々を過ごしているのも、沖縄大学同窓会奨学金を頂いたことで経済的なことを気にせず、研究に励めているからです。本当に感謝申し上げます。



この写真は、講義で他の院生とディスカッションしている筆者

(この写真は、講義で他の院生とディスカッションしている様子です。講義は議論する時間が多く取られているのでとても充実した時間となっています)

2021年3月
福祉文化学科卒

宮里 優雅



私は児童デイサービス施設に就職し、放課後、特性を持った小学生から高校生までの児童生徒を預かっています。大学時代はまさか自分が福祉の現場で働くとは思いませんでした。

初めはどう子供達と接すればいいか悩んでいました。関わりのなかで失敗もしましたが、今は子供達が「今日も楽しかった!」と言って帰ってもらうにはどうしたらいいかを考えながら働けるようになりました。この仕事を通して感じるのは子供達が半年でもこんなに成長するんだ!と驚くことが多く、出来なかったことが出来るようになった時はとてもやりがいのある仕事だと感じています。

出来ないことに挑戦する姿を見ることが自分にとっても良い刺激になりました。毎日遊びながら楽しく

働くことができていると思います。仕事をしていて本当に子供達に接する仕事が天職だなと感じています。

今後は、現在の仕事をしながら、さまざまな支援について学び、その後は教員免許を取得して教育現場で経験を積み、多様な環境の子供達の支援者となればと考えています。

放課後等
デイサービスとは

児童福祉サービスの一つで、放課後や長期休暇において、発達に特性の持った子どもたち個々に合わせた発達を支援することを通じ、子どもの最善の利益の保障、保護者支援、共生社会の実現を目指している。



青年部会BBQ

青年部会長 島袋 格

青年部会は現役学生を招いて観月会を催すなど、沖縄大学同窓会の活動を周知してまいりました。

今回、沖縄大学の野球部メンバーは九州を制し全国大会へ進むという大活躍をしました。

その功績を称え青年部会は2021年11月5日、野球部4年次を招いて祝賀の宴席を設け大いに盛り上がりました。



九州地区大学野球 新人戦 優勝

野球部主将 島袋 瑠平

本学野球部は昨年10月23、24日に開催された第23回沖縄県大学野球フレッシュトーナメントで優勝を果たしました。11月13、14日に開催された第10回九州地区大学野球連盟新人戦決勝トーナメントでも2年ぶり2回目の優勝を勝ち取りました。フレッシュトーナメントと新人戦は1・2年生のチーム編成で次年度につながる大会となりました。なお松堂秩己さん(高知ファイティングドッグス)は独立リーグを経てNPB入りを目指しています。



バスケット部九州リーグ 一部昇格

監督 新垣 真一郎

「12点差」。初戦の九州国際大学戦の後半で、最大のビハインドを負った場面です。コロナ禍において、十分な練習と対外試合が組めない中での不安を伴ったリーグ戦初戦でした。たまたらタイムアウトを取りましたが、常に劣勢に立たされていた状況において、私自身も少し混乱状況にあり指示内容をあまり覚えていません。劣勢の状況を好転させたのは、やはり選手たちでした。主将の濱川晃希(経法商..4年)を中心とした粘り強いディフェンスと副主将の具志堅源吉郎(健康スポーツ..3年)の連続得点でなんとか終盤に追いつき、2点差での逆転勝利を掴み取りました。その後は、初戦の勢いそのままに、宮崎産業大学戦、福岡教育大学戦、九州大学戦に勝利し、最終戦の名校大学戦では、敗れはしましたが、4勝1敗の成績となり初の2部リーグ優勝をし、県勢初の1部昇格を

果たせました。今大会ほど、学生の諦めない気持ちとチームワークを見た大会はありません。苦しい状況下でも前を見続け、戦い抜いた選手たちを頼もしく思います。



2020年度 社会福祉士・精神保健福祉士合格者

福祉文化学科国家試験 対策委員長 久貝 興徳

福祉文化学科主催の社会福祉士・精神保健福祉士国家試験合格者(2020年度13名)及び受験生に対する激励会が8月7日、オンラインで行われました。今年度も新型コロナウイルスの感染防止のためオンライン開催となりましたが、参加者は昨年よりも多い総勢47名でした。毎年、棚原勝也同窓会会長にはご参加いただき、先輩合格者・受験生に向けた激励の言葉及び祝金贈呈を行っていただき心から感謝しています。

お陰さまで多くの沖縄大学卒業生が、施設・機関・行政等でソーシャルワーカーとして働いています。地域に貢献している彼らを誇りに思っています。



ヤンバル支部設立 準備委員会発足

稲嶺 諭

北部地区、いわゆるヤンバル地区に「沖縄大学同窓会のヤンバル支部を」との声は以前からありましたが、名護市に住みついて4年目になる私は引越してからですとその思いを持っていましたが、きっかけを掴みずにはいまました。

コロナ禍の落ち着きそうな気配のある昨今、同窓会評議員で沖縄大学評議員会議長の喜納憲利氏(今帰仁村出身)のご協力を賜り、今期にいよいよヤンバル支部準備委員会が発足しました。

来期の「ヤンバル支部」設立に向けて着実に進めたいと考えております。ご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。



沖繩大学 大学院紹介

沖繩大学大学院
地域経営専攻を修了

海野 高志

去る2021年9月17日、私は沖繩大学大学院を修了した。2度目の沖繩大学からの卒業である。

2005年2部福祉文化学科卒業後、沖繩県の社会福祉職として子ども家庭福祉の分野を中心にソーシャルワーク実践を重ねる一方で、地域活動の中で、子どもの居場所づくりにもかかわらずいた。地域実践と行政を有機的につなぐソーシャルワーク実践をいかに実現するかという課題が大学院進学のも動機であった。沖繩大学大学院現代沖繩研究科は、地域経営専攻と沖繩・東アジア地域研究専攻の2専攻があるが、上限はあるが専攻を超えて、また、学部の特長科目も修了単位として受講できる。これは研究テーマを重層的にとらえる機会となった。

私自身、病気療養で半期休学をしたが、休学中も研究を進めて、何とか2年半で論文を書き上げたという状況であった。2年分の学費で3年間通える長期履修制度の活用を勧めたい。

院生には共同研究室利用と研究費の助成が受けられることもとてもありがたい。集中的に研究に取り組むためにも、また、院生同士のディスカッションの場としても共同研究室は価値がある。新型コロナの影響で一部利用制限はあったが、論文の追い込みの際はフル活用させてもらった。研究には通常の学費以外にも費用がかかるものである。沖繩大学同窓会では、在学中1回活用できる大学院向けの奨学金制度がある。私自身がその選考をする立場の評議員なので、さすがに応募しなかったが活用を大いに勧めたい。

2度の目の母校の経験は、新たな活動の原動力となり、研究継続にもつながっている。大学院修了者は地域研究所の特別研究員になることができる。卒業生の皆様、2度目の母校してみませんか。

同窓会奨学金は現在令和4年度の奨学生を募集中です。詳細は同窓会ホームページでご確認ください。

沖繩大学 硬式野球部 全国大会観戦記

1985年 経済学科卒

東京都在住 鈴木照雄



2021年5月27日「全日本大学野球選手権大会」出場の朗報が来た。大学時代硬式野球部を共にした古堅正一氏からである。

この喜びを、共にグラウンドで汗を流した備瀬知幸氏にも伝えた。6月7日遂にわれら硬式野球部の積年の祈願であったその時が来た。

東京ドームのスコアボードに後輩選手の名、その右横の大型スクリーンに青色をバックに大きく映し出された「沖繩大」の白文字。対戦相手は愛知県名古屋市の名城大学である。

グラウンドの彼らを見守りながら期待と不安が交差した。沖繩大学1番大城選手の手三塁打がこの試合は始まったが得点ならず。

学園祭

沖大祭実行委員会

実行委員長 石川晴日



第62回沖大祭は、まず、昨年度のようにオンラインで行うのか、対面式で行うのか、対面式で実施した。対面式を計画した際に、コロナウイルスの影響を受け中止となってしまうよりも、始めからオンラインを選択し、確実に開催できる方が良くと考え、今年度も「オンライン沖大祭」という形をとりました。

手探りだった昨年度よりも、「更に質の良いものにしよう！」とスタートした今回の沖大祭。沖繩大学の教員も参加し、沖繩の歴史・文化・自然について学ぶフィールドワークを行い、各学科の教員がどのような研究をしているのかを知る機会ができました。

オンラインの利点を生かし、アポロサイエンスのせいた先生やYouTuberの弾丸ライナーズさんら多くのゲストとコラボした企画には、学科を越えての交流や、対面式ではなかなか出展できなかったスポーツ系の部活生にも参加してもらえました。さらにORANGE RANGEさんのLIVE映像配信もオンラインならではのものとなりました。

多くの方の協力を得て実現できた沖大祭。コロナ禍ということで、人数も最小限に抑え活動を行ってききました。これからコロナウイルスの影響が収まり、対面での活動ができ、多くの学生や地域の皆様に参加できる対面の沖大祭ができることを願っています。



人物シリーズ
活躍する
同窓生 ⑬

ウニココ代表、
満月即興代表、
俳優、演出家、
大学非常勤講師

上田真弓さん

1993年
沖縄大学法学科卒



19の春に沖縄に来て、
気がつけば50代の冬を迎え
ています。早い！

広島から一人に来て、
心細さと一緒に入学した沖
縄大学は、元号表記も君が
代も日の丸もなくて、とて
もすっきりした気持ちにな
りました。いまも89日から
始まる学籍番号を記憶して
いますが、私が入学した
1989年という年は、昭

和天皇が死に、学生になっ
たばかりの私と同じ、「学
生」が無残に殺されるよう
な天安門事件が起こり、ド
イツを分断していたベルリ
ンの壁が崩れた、そういう
年でした。

子どものころには考え
もしなかつたけども、そう
か、世界地図が「変わる」
ようなことが世界では起こ
るのだと知りました。民主
主義のことを強く意識する
年に、私は沖縄に来たのだ
と思います。

沖縄大学は日本のあり
ように抗議して日の丸の旗
に火を放った知花昌一さん
を輩出した大学だというこ
とを自慢に思いました。

私が入学したとき、新
入生に贈り物として配られ
たカレンダーは毎月一遍の
山之口貌の詩が印刷された
ものでした。

プレハブ2階建ての
「サークル棟の前で、新良幸
人が七輪でサンマを焼きな
がらギターを弾いていて、
どこかの部屋の畳の下から
は、赤いヘルメットがごろ
ごろ出てきたといえます。
当時職員だった仲里効さん
が企画したミニシアターで、
いままで知らなかったかっ
こいい映画をたくさん見ま

した。生のおすぎも見た。
ごちゃごちゃしたなかで、
人に会い、芸術に触れ、民
主主義と人権を考える。沖
縄大学は、私にとってはず
ういう場所です。

沖縄の戦後史研究の権
威で、沖縄の被る理不尽を
あきらかにする新崎盛暉先
生がいて、公害問題に真正
面から取り組むことでアカ
デミックでは不遇な立場に
あつた宇井純先生が東大か
ら沖大にうつってきていま
した。宇井先生に執心して
進学してきた同級生は入学
して早々に、石垣島の空港
建設に反対して「白保の海
を埋めるな」と座り込んで
いました。

宇井先生のゼミは夜間
の時間で受講したので、い
ろんな人に出会えて本当に
かけがえのない時間です。
た。宇井先生は、お酒を飲
んでウニココしていること
ろばかり覚えていきます。「酒
の一滴、血の二滴」が口癖
沖大の授業やゼミで過ごし
た時間は、いままでずっと
私の根っこになるような心
構えをかたちづくりました。

とはいえ、友だちと遊
ぶのが楽しくなったり、在
学中に演劇をはじめたり、
旅にでるのがおもしろく

なったりして、大学にはあ
まり行っていないので、な
んというか、……すいませ
ん。



ウニココ、国際児童青少年
演劇フェスティバルおきなわに参加

いまも演劇をしていま

す。38歳のときに演劇と教
育の関わりについて勉強し
たくなり、琉球大学の大学
院に進んで演劇教育をテー
マに論文を書きました。いま
まは演劇と教育に関わるこ
とを仕事にしています。い
くつかの学校、大学で非常
勤講師をしています。学生
が毎回出席してくるのを
奇跡のように見ています。

「欠席すると単位が出せな
いよ」などと言うたび、背
中が痒くなります。

民主主義がどのように
蹂躪されるのかということ
が、沖縄に在るとよく分か
ります。深夜2時、3時に
轟音が響くことがあります。
そんなこと本当なら許され
ない。ありえない、おかし

いです。アメリカではアメ
リカの法律に従って民間区
域を軍用機が飛ぶことはあ
りません。

でも、沖縄では飛びま
す。住宅の上も、学校の上
も、病院の上も。辺野古で
は、マヨネーズみたいな軟
弱地盤が見つかつているの
にお金と土砂を海に注ぎ続
けている。「辺野古に基地
ができない」という。でも10
年かかっても、多分、でき
ない。海にオスプレイが落
ち、学校に窓枠が落ち、保
育園の屋根に部品が落ちる。

19の春から沖縄に暮ら
して、たくさんの人に優し
くしてもらって、大事にし
てもらって、いまもここで
生きている私に、いったい
何ができるのか。おろおろ
としているばかりで申し訳

なくして、たくさんの人に優し
くしてもらって、大事にし
てもらって、いまもここで
生きている私に、いったい
何ができるのか。おろおろ
としているばかりで申し訳

なくして、たくさんの人に優し
くしてもらって、大事にし
てもらって、いまもここで
生きている私に、いったい
何ができるのか。おろおろ
としているばかりで申し訳



満月即興、走るモノレールのなかで

ないです。演劇の世界で自
由な表現を描き、教育の場
で民主主義と人権を語る。
そうしたことを重ねていま
すが、現実のきつさに一向
に追いつきません。

沖縄大学で「学生」を
する皆さん、どうぞ、理不
尽をまっすぐに見てくださ
い。「学生」だから見える
ものがあります。そうして
願わくは、学生じゃなく
なつても、理不尽を注視し
てください。なぜなら、理
不尽がなくなる心配がない
からです。少しでもましな
未来のために、よく見て考
えて、歩いていきましょう。
一緒に。



満月即興で歌う、ブックカフェで

人物シリーズ
活躍する
同窓生 ⑳

社会福祉法人
松信福祉会 松の実保育園
理事長 園長

松原 正太さん

2004年
沖縄大学 福祉文化学科卒



現在のお仕事は

2013年6月より保育園に勤めています。南城市立保育所民営化基本方針により、2015年4月、公立保育所の民営化を受け社会福祉法人として開園しました。

沖縄大学入学のきっかけは？

大学入学を決心したの

は高校3年夏休み明けでした。周りは大学受験勉強に取り組んでいるなかでのかなり遅い判断でした。それまでは、将来に対する希望が不透明で目的意識がなく青春時代を過ごしていました。正直、これというきっかけは、ありません。そんな折、進路指導室に通うなかで、無意識に手に取ったのが沖縄大学のパンフレットでした。「1999年、沖縄大学福祉文化学科開設」の文字が、目的意識のなかった私に「人助け」に関わりたい、「福祉」の世界があることに心動かされ沖縄大学へ入学を決めました。

在学中の思い出は？(当時の学生気質とか、印象に残っている教員とか)

2つの思い出があります。1つは、夜間部入学のため、社会人枠で入学した学生との出会いが一番の思い出として残っています。年齢の壁を越えた交流や会話は新鮮で、人生の大先輩たちと過ごした日々は一生の宝です。

次に、勤労学生として過ごした4年間の日々は、毎日が楽しく強烈な印象と

して強く残っています。昼間は、特別養護老人ホームで介護士として働き、講義が終わると月4回の夜勤シフトに入る生活を4年間続けました。当時は、高齢者の日常生活援助のために介護技術の習得に夢になりました。学業より仕事を優先していました。

大学卒業後の進路について

在学中から、特別養護老人ホームで介護士として就職していましたので、卒業後は、介護主任として役職を頂き仕事を継続しました。その後、転職し通所介護事業所、病院のソーシャルワーカーの経験を得て、現在に至ります。「ゆりかごから墓場まで」という言葉があります。卒業後の進路は、その人らしさを認めその人が望むライフスタイルに見合った生活支援に携わり様々な経験を経ることができました。

保育園は、子どもが生涯にわたる人格形成の基礎を培う場とされています。子ども達は、人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、自主、自立及び協調の態度を養い道徳性の芽

生えを培う事など、遊びを中心に様々な体験をしています。法人理念の「自己実現」が達成できるように一人ひとりの凸凹を認め、子どもの最善の利益が保障される保育園づくりを目指しています。

沖縄大学への期待と在学生へのメッセージ

在学生の皆様へ、出会いと学びを大切に将来の目標に向かって進んでください。社会に出ると正解の答え探しが始まります。時間をかけてでも自分自身の手で答えが見つけれらるよう「今」を大切に充実した学生生活を送れるように過ごして下さい。

介護の仕事で介護している側との印象に残る出来事など

介護の仕事に携わったのは、大学の学費稼ぎが目的で、入学と同時に始まりました。1年目は緊張のあまり頭が真っ白で、職場の先輩方に言われるがままに働き、夜間は大学に通う日々をただ過ごしていました。2年目によく介護の技術習得に自信が付き高齢者と会話を楽しめるよう

になったことを覚えていました。介護の仕事ではよく、「ありがとう」を言われたときにこの仕事のやりがいを感じると言われます。私も実体験から、高齢者の食事介助や排泄介助をした際に「ありがとうね」と言葉を頂きました。人は人によつて育てられ、人によつてケアされることを深く考えさせられました。

「少子化や地域共生社会の中における 園経営の今後のビジョン」を教えてください

法人理念に「自己実現」を掲げています。保育園では、子どもが遊びを自由に選択しさらに展開できる人間に育ち、小学校入学を迎えてほしいとの思いがあります。働く職員は、自己の描くキャリア形成など将来を見据えた人生設計が達成できるように自己実現の環境を創ります。その実現のためには、地域との繋がりが不可欠です。現在の地で保育園開園が実現できたのも地域の理解があったお陰です。本当に、感謝しかありません。共生社会に向けて、地域のミニディサービス交流や独居高齢者宅を見

守る「ちびっ子見守り隊」を発足させ、地域に必要とされる社会福祉法人であり続けるための種まきをしています。



松の実保育園

編集後記

会報第33号をお届けします(年2回発行)。ご寄稿者、編集に関わった皆様に心から感謝申し上げます。今回は文芸欄をお休みし、「活躍する同窓生」欄でお二人紹介しました。同窓生の交流を目的にした本紙ですが、こうした、活躍する先輩たちのようすは後輩たちへの励みにもなることを信じて編集しました。

同窓会広報委員会委員長
下地 将生